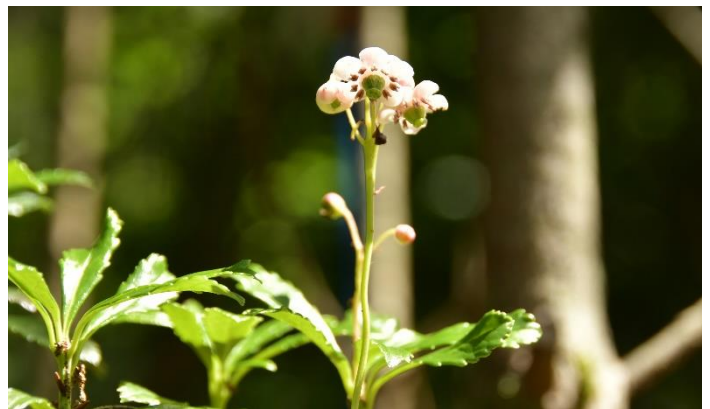


～可憐に佇む 森の妖精～

オオウメガサソウ ガイドツアー開催します

国営ひたち海浜公園の「ひたちなか自然の森」では、神秘的な佇まいとうつむくように咲く様子から“森の妖精”とも呼ばれているオオウメガサソウが咲き始めました。オオウメガサソウはアカマツの林床に自生する希少植物で、環境省レッドリスト（2020）では準絶滅危惧、茨城県版レッドデータブック（2012）では絶滅危惧Ⅰ類に指定されています。主に普段は立ち入ることができない、ひたちなか自然の森の自然保護区に自生しているため、公園ボランティア「里山パートナー」が案内する「オオウメガサソウガイドツアー」に参加することで観察できます。



ひたちなか自然の森 撮影/2023年5月30日

◆本公園が自生の南限地

オオウメガサソウは、ツツジ科ウメガサソウ属の常緑低木です。高さは10cmほどですが樹木の仲間、直径1cmほどの淡い桃色の花を咲かせます。ウメに似た花を笠のように下向きに咲かせ、ウメガサソウより大型であることから、オオウメガサソウの名が付けられました。世界では北半球の冷温帯から亜寒帯を中心に分布し、日本では北海道、青森県、岩手県および茨城県のごく限られた場所に自生しています。本公園は日本における自生南限地であり、種の保全上重要な生育地となっています。

【オオウメガサソウ】

■開花時期/6月上旬～中旬 ■場 所/ひたちなか自然の森



ウメに似た花を咲かせる  
(2023年5月30日撮影)

◆「ひたちなか自然の森」と「オオウメガサソウ」

ひたちなか自然の森は、アカマツとクロマツを主体とした里山環境が広がる樹林エリアの一角にあります。その林床には様々な種類のコケ類や地衣類が自生し、観察池にはカワセミや水鳥が訪れるなど、多様な生物を身近に観察することができます。本公園は寒流と暖流がぶつかる影響から、北限・南限に近い生物が混在しています。オオウメガサソウもその一つで、アカマツの根共生菌と共生しているオオウメガサソウは、地上では数株から数十株のまとまった群落のように見えますが、アカマツと地下茎でつながった「一株」となっています。



アカマツと共生するオオウメガサソウ

◆「特別ガイドツアー」と「保全活動」

ひたちなか自然の森では、オオウメガサソウの開花に合わせて「オオウメガサソウガイドツアー」を開催します。公園ボランティアの「里山パートナー」が普段は入ることができない自然保護区で、オオウメガサソウの魅力や生育環境をご案内する観察会です。「里山パートナー」は、オオウメガサソウの生育地の調査に加え、生育環境を維持するための広葉樹の伐採など、年間を通して希少な動植物が生息・生育する里山環境を守る活動をしています。

【オオウメガサソウガイドツアー】

- 日 程/6月3日(土)～11日(日) ※6日(火)休園日を除く
- 時 間/【平日】①10:00～ ②10:30～ ③11:00～  
【土日】①10:00～ ②10:30～ ③11:00～ ④11:30～ ⑤12:00～
- 場 所/ひたちなか自然の森 ■受 付/ひたちなか自然の森(あずまや) ■参加費/無料
- 定 員/各回10名 ■雨 天/中止 ■協 力/茨城生物の会、沢田湧水地パートナー



オオウメガサソウの照度調査  
(2023年4月27日撮影)

Information  
希少な動植物を保全するプログラム「里山管理体験」を6月8日(木)に実施します。

公園公式SNSもご覧ください お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 田中・渡邊・田野  
TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339  
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4 <https://hitachikaihin.jp>